

# みどりの風

Summer  
2023  
No.74

夏

特別  
子ども号

特集

みつけた! ビックリ!  
発見の夏



飯田高原の夏を告げる花の一つがナツツバキです。梅雨明け頃から次々に開花します。花の形はツバキにそっくりですが、色は純白で夏の陽射しによく映えます。別名ジャラノキ、本州～九州に自生し寺院などに植えられ古くから親しまれてきました。

九重ふるさと自然学校 (運営: セブン-イレブン記念財団)

## CONTENTS

No.74

Summer 2023

特集

### みつけた! ビックリ! 発見の夏

ゲッチョ先生の  
「生きものの見方」 盛口 満 02

クイズ 生きものを知る 06

野山が教室、生きものが先生  
自然学校っておもしろい! 08

生きもののお付き合い  
大好きなカエルに出逢えた幸せ 入江聖奈 13

小さな博士の大発見 16

やまけんの 野菜が食卓にのぼるまで 20

今、地球のためにできること 22

子どもたちにぜひ読んでもらいたい! オススメ本 24

脱炭素チャレンジカップ

「カスを価値に!」廃棄される酒粕で地域を活性化  
長野県佐久平総合技術高等学校 26

セブン-イレブン記念財団

2023年度「環境市民活動助成」助成先決定! 28

活動レポート 30

セブン-イレブン記念財団からのお知らせ 31

●編集発行

一般財団法人  
セブン-イレブン記念財団

〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8  
TEL03-6238-3872 <https://www.7midori.org>

- 編集協力 弘旬館
- デザイン プラス・アイ
- 表紙写真 © imamori mitsuhiro/Nature Production/amanaimages
- 写真 山之上雅信、小堺正紀 桜井季己/アフロ
- 印刷・製本 凸版印刷株式会社

みどりの風

2023年夏号 (vol.74)

2023年6月16日発行

©2023 セブン-イレブン記念財団 001-2306-56200 S.K.T.

定期送付・停止の  
希望はこちらから



本書は環境に配慮し、FSC®森林証紙と  
植物油インキを使用しています。

未来へつなごう

30  
th  
ANNIVERSARY

一般財団法人  
セブン-イレブン記念財団



# ゲッチョ先生の「生きものの見方」

文・イラスト  
もりぐち  
盛口 満

## 興味を ひかれた 貝殻拾い

ぼくが生きものに特別な興味を持つようになったのは、小学校2年生ごろ、海辺で貝殻拾いを始めるようになったときからです。ぼくは房総半島の先端近くにある、館山という海辺の街で生まれ育ちました。ある日、父親に連れていってもらった海辺で、ぼくは貝殻が「たくさん落ちていっているのに気づきました。たくさんというのは、数という意味ではありません。貝の種類が「たくさん」あるのに、この日、気づいたということなんです。今から思えば、生物の多様性に気づいたのがこのときだったといえるでしょう。

ぼくはこのときから、海辺に通い、せつせつ貝殻を拾い集めました。やがて、貝殻以外にも、道端の植物や、昆虫にも同じような多様性があることに興味をひかれるようになりまして。小学6年生のときに卒業文集に書いた将来の夢は、博物館に勤めて、世界中の生きものが載っている図鑑を作りたいというものでした。

## 見方は 人それぞれ 違っていい

小学校のときに抱いた「全世界生物図鑑」を作るとい夢は、ほどなくあきらめることになりました。なぜなら、図書館に行けば、日本産に限っても、ぼくの見たことのない生きものがたくさん出ている図鑑がずらりと並んでいましたし、その図鑑にも出ていない生きものがいることがわかったからです。実際、地球上にどれだけの種類の生きものがあるのか、ぼくが大人になった今でさえ、はっきりわかっていません。なぜ、生きものはこんなに種類がたくさんいるのでしょうか。それは大きななぞです。

生きものはものすごく多様なので、すべての生きものを知っている人はいま

### Profile

1962年千葉県生まれ。千葉大学で生物学を学んだあと、理科教員となり、「ゲッチョ先生」の名で中高生に親しまれる。現在は沖縄大学教授。昨年3月まで学長をつとめた。『ゲッチョ先生と行く沖縄自然探検』『おしゃべりな貝』『身近な自然の観察図鑑』など著書多数。

# 特集 みつけた ビツクケリた 発見の夏

海に、山に、川に、生きものたちが活発に動きまわる夏がやってきた！  
ゲーム機を置いて、飛びだそう外へ。  
ときどき、ワクワク。さわって、遊んで、生きものたちとふれあおう。









答

Q-1 ④ コバネ松ぼっくりのウロコを丁寧にはいでいくために、このような食べあとが残るといわけです。森に入ったらこんなエビフライが落ちていないか探してみましょう。

リスは松ぼっくりの中に入っているマツの実を食べます。松ぼっくりのウロコの部分を丁寧にはいでいくために、このような食べあとが残るといわけです。森に入ったらこんなエビフライが落ちていないか探してみましょう。

Q-2 ④ 糞

ネズミもくすぐられると笑います。しかも人間には聞こえない高い音を出して大笑い。うれしくなってジャンプをしてしまうこともあるのだそう。ただし、不安だったり機嫌が悪かったりするときは笑わないようで、なんだか人間とそっくりです。

Q-3 ④ 肋骨や背骨がくっついてできた

人間の肋骨は、心臓や肺を守るよう胸を囲う役割があります。ところがカメの肋骨は背骨とくっついていて、これが甲羅になっているのです。甲羅の表面は角質という爪をつくっているのと同じ成分でできています。

Q-4 ④ 胃袋を取り出して洗う

カエルは口から胃袋をひっくり返して吐き出し、間違えて食べてしまったものを取り出します。出した胃袋は手で掃除し、中身をすっきり。きれいになったところで再びお腹のなかにおさめます。

Q-5 ④ 顔

なんとザリガニのオシッコは触角(長いひげ)の付け根から出るので。危険がせまったときにはここからオシッコを出して仲間に知らせながら、後ろ向きに逃げていきます。ちなみに、池や川でよくみかけるアメリカザリガニは2023年6月から「特定外来生物」に指定されました。飼うことはできますが、外に放すことはできないので注意が必要です。

Q-4

カエルが食べられないものをうっかり食べてしまったら、その後どうする?

カエルは消化しきれないような獲物や、食べられないものを間違えて口に入れてしまうことがあるのだそう。苦しくなったカエルはどうする?

- ① 顔中から<sup>あぶらあせ</sup>脂汗をかく
- ② 大きなウンチを出す
- ③ 胃袋を取り出して洗う

答

Q-5

ザリガニはどこからオシッコをする?



背中では硬い殻におおわれていて、お腹には脚がいっぱい。オシッコをするところなかなかさそうだけど、一体どこからするんだろう?

- ① 顔
- ② おなか
- ③ 脚

答

# クイズ 生きものを知る

生きものには不思議がいっぱい。環境や生態に応じてさまざまな工夫をこらしています。身近な生きもののまだ知らない一面をクイズで学んでみましょう。

Q-3

カメの甲羅はどうやってできた?



カメの身を守る、カチコチの丈夫な甲羅。他の生きものにはないこんな便利なものをカメはどうやって手に入れたんだろう?

- ① 肋骨と背骨がくっついてできた
- ② 皮膚が硬くなった
- ③ 貝殻を砕いて粘液と混ぜたものを背負っている

答

Q-1

森の中でエビフライを発見。これな〜んだ?



森や野山で、地面によく目をこらすと見つかるこの物体。誰かのお弁当の忘れ物? いえいえ、そうじゃありません。さて、これは何?

- ① 風で飛んできたスギの木の花
- ② リスが松ぼっくりを食べたあと
- ③ クマが消化できなかったものを吐き出したあと

答

Q-2

ネズミはくすぐられるとどうなる?

身体をくすぐられると、全身がムズムズしてつい笑っちゃう。くすぐりたいと感じるのは人間だけなのかな。くすぐられたネズミはどうなる?

- ① 暴れる
- ② 笑う
- ③ 万歳する

答



野山が教室、生きものが先生

# 自然学校って おもしろい!

この夏、生きもの世界をもっと深く知りたいなら、「自然学校」がおすすめです。セブン-イレブン記念財団が運営する自然学校の体験プログラムにも、応募が殺到。その人気の秘密とは？

## 心と身体で自然を 感じる場所

「自然学校」を知っていますか。参加したことはありますか。

「学校」といっても、机に向かって勉強するわけではありません。自然学校は、自然をリアルに、体験する場所。そこには本物の野山や水辺にすむ、本物の生きものとの出会いがあります。だから、その楽しさを知るには、実際に参加して、自分の心と身体で感じるのが一番なのです。

自然学校と呼ばれる活動団体や施設は、全国に3500以上あり、それぞれに体験活動をおこなうフィールドやプログラムを用意して、みなさんを待っています。

わたしたち「九重ふるさと自然学校」が活動しているのは、大分県くじゅう連山のす野に広がる飯田高原。よその地域ではあまり見られなくなった、「草原」という環境がはぐむ生きもの豊かさや、四季折々の風景の美しさが何よりの自慢です。

草原は、はじめから草原だったわけではありません。長い年月をかけ、人が自然に手を加え続けることで守られてきました。そして、そんな草原でしか心地よく暮らせない貴重な草花や昆虫、鳥たちがいます。草原を守ることは、それらの生命をつなぐことでもあるのです。

わたしたちは2007年の開校以来、地域の自然保護への協力にも力を入れてきました。ここへ来ないと味わえないワクワクやドキドキの「おみやげ」を、みなさんに



ハンカイソウの蜜を吸う草原のチョウ



森林づくりエリア

チョウの草原

田んぼ

みいれが池

事務所

遊びに来てね!



「九重ふるさと自然学校」のスタッフ



ヒゴタイの花は九重の夏の風物詩



水辺にも「発見」がいっぱい!



キアゲハの幼虫はくいしんぼう



すばやいキチョウを捕まえたよ!

ひとつでも多く持ち帰ってもらうために。

## 3つの発見が成長をうながす

自然学校へ来るとワクワク、ドキドキするのは理由があります。それは、次の3つの「発見」があるからです。

①「目には「生きもの」の本当のすがた」を見つげられることです。わたしたちの体験プログラムの参加者の多くは生きものが大好きで、ふだんから生物の図鑑やテレビ番組、動画をよく見ている、という人も珍しい



つくって、食べて、里山に伝わるおいしさも体験

くありません。でも、知識と体験とは別物です。例えば、希少な草原のトンボを自分の目で探して発見したときの喜び。大人の（はずの）わたしたちだって、何度出会っても興奮して、夢中になってしまいます。チョウの翅のはかなさやイモムシのフニフニした感触までは図鑑は教えてくれません。自分の手で触れてはじめてわかることなんです。その驚きはみなさんの心を強く、深く揺さぶるでしょう。

そして、そんな仲間たちと自然のなかを駆け回るうちに、「自分は本当に生きものが好きなんだな」と、あらためて気がつくこともあると思います。そう、第3の発見は「自分自身」です。田んぼで生きもの調べをやる時、最初は足を入れるのもイヤだと泣いていた子が、いつの間にか泥んこになってカエルを追いかけていたりします。体験活動を通じて、「生きものが好きな自分」を発見し、付き添いの保護者の方々も驚くほどたくましくなっていくんですね。わたしたちは、そういう変化を何度も見てきました。セブン-イレブン記念財団の自然学校は、九重のほかに、次ページで紹介する東京の「高尾の森自然学校」があります。みなさんも気軽に参加して、「発見」の夏を過ごしてみたいいかがですか？



## ヤマガラの巣箱

森の木に設置された巣箱を発見。今はヤマガラが卵を温めている真っ最中だとか。刺激しないように静かに通りすぎよう。



## 生きもの観察

源流の水をたどってしばらく歩くと、最初はたよらなかった沢が少～しだけ立派になりました。いよいよお待ちかねの生きもの観察。沢に入って、タモで泥をすくいます。どんな生きものが見つかるかな？



アメンボ



ヤゴ



ホトケドジョウ



ミズムシ



カワニナ



子どもも大人も大はしゃぎして泥と格闘！ その結果見つかったのは、トンボの赤ちゃんであるヤゴ、ホタルのエサになるカワニナ、そして全国的に数を減らしているホトケドジョウなど。いずれも流れのゆるいきれいな川に住む生きものです。

イラスト: かけ

# プログラムに参加してみよう!

自然学校ではどんなプログラムがおこなわれているのかな？ 都心から電車で約1時間半、高尾山のふもとに広がる広大な森を活動場所にする「高尾の森自然学校」で4月16日に開催された「森里川海のつながりを学ぼう」のようすをレポートします。



ご参加お待ちしております!



「高尾の森自然学校」のスタッフ

## 森に降った雨はどこへ行くの？

本日の参加者は親子連れが中心。学校のホールに集合したところで、先生からプログラムについて説明が。どうやら今日は「森に降った雨のゆくえ」を探る冒険に出かけるようです。



## 「この穴なに～？」 「アナグマの巣だよ」

アナグマの巣の中は複数の部屋に分かれていて、とっても快適なんだって。さまざまな動植物について先生の説明を聞きつつ、さらに森の奥へ。



## 森に出発!

じつはここ「高尾の森自然学校」には、土から水が染み出て川になる最初の「源流」があるんです。それを目指して森の奥へといざ出発！ 森の中は気持ちがいい～。



## 水が生まれる場所

「どこどこ?」「ここだよ!」先生に指をさしてもらわないと見逃してしまいそうだけど、たしかに水が染み出ている場所があります。ここが川の始まり。地下水としてたくわえられた雨が地面から少しずつ染み出して、小川を作っています。



## 源流の水はどんな水?

小さなピンで源流の水をすくって観察します。ピン越しに見る水はとてもきれい。さらに先生お手製のペットボトル透視度計や測定器を使って水質を検査すると、すべての数値で水のきれいさが裏付けられました。







お気に入りのカエル柄Tシャツでファイティングポーズをとる入江聖奈さん。カエルの魅力について話し出すと止まらない

## いりえせな 入江聖奈

(オリンピック金メダリスト・大学院生)

### Profile

2000年鳥取県生まれ。小学2年からボクシングを始め、高校2、3年で全日本女子選手権ジュニア大会連覇。日本体育大学へ進み、21年東京五輪で日本女子ボクシング史上初の金メダルを獲得。ボクシングは大学で引退し、現在は大学院で大好きなカエルを研究中。

# 生きもののお付き合い 大好きなカエルに 出逢えた幸せ



東京オリンピックで、女子ボクシング金メダルに輝いたアスリートが、カエル愛に目覚めてどうとう研究者の道に。

入江 私の研究対象はヒキガエルです。山へ入ると、人が登るのも大変な崖を、産卵期のメスのヒキガエルがオスを背負って、一生懸命登っている姿を見ていると、私も見習わないと、って思います。ヒキガエルのどこが好きかといえば、あのルックスですね。とくに正面から見る顔が超かわいくて。調査で体重を測ったりしているときも、つい見詰め合っちゃいます(笑)。



正面から見たヒキガエル

## がんばり屋のカエルを見習いたい

今年4月から東京農工大学の大学院で、念願のカエルの研究に取り組みます。どんな気分ですか。

入江 めちゃくちゃ楽しいですよ。私の先生の岩井紀子准教授は、カエル界ですごくい方で、この大学を志望したのも、この先生がいたからなんです。尊敬する先生のもので自分のやりたい研究ができるなんて、ほんとに幸せです。授業に出る以外は、毎日、野外でカエルを探し回っています。

毎日!? カエル探しをや?

## ある日、訪れた運命の出逢い

熱烈的なカエル愛に目覚めたきっかけは何だったのでしょか。

入江 小さい頃から野山で遊んでいましたが、とくに生きものが好きというわけではありませんでした。高校のカエル好きの友だちから、図鑑や写真を熱心にすすめられても「ふーん」って感じて。

出逢いは突然でした。学校帰り、友だちとおしゃべりしながら自転車で乗っていたら、道端のアジサイの葉っぱにぶつかってしまって。植物じゃない感触があったのでふと見たら……そこ

## 沢を下って川まで行こう!

生きもの観察を終え、再び沢をたどる冒険へ。沢の中を一列になって進み、川の入り口まで向かいます。水の中は滑りやすいので、慎重に。



## イノシシのヌタ場を発見

ヌタ場とはイノシシが体を洗う場所、いわばお風呂場のこと。イノシシはここで体についたダニやシラミを泥と一緒に洗い落とします。きれい好きなんです。



## 学校に帰ってきたよ

来た道に戻り、学校へ。みんなで記念撮影をパチリ。あっという間の3時間でした。



## まとめ

私たちの生活に欠かせない「水」。その水を生み出しているのが、今日散策したような水源の森です。森に降った雨は地下水として地面にたくわえられたあと、少しずつ地面から染み出して沢になります。きれいな水がわき出る水源の森は、飲み水や農薬用水として昔から大事にされてきました。今日たどった沢は、大沢川から浅川、そして多摩川へとつながり、最後は東京湾に流れ着きます。上流から下流へと行くにしたがって生態系も変わります。水源の小さな沢は、水がきれいでも大きな魚がいないので、川では見られない生きものが住んでいるのです。みんなも探しに行ってみよう!



にいたシユレーゲルアオガエルと目が合っちゃったんです。キュルキュルした瞳に、一瞬で恋に落ちました。野生だからやせていて、動き方もすぐくリアル。写真で見ると、すっぴんがかわいかった。

飼おうと思って家へ連れ帰ったけど、水を張った容器にちっとも入ろうとしない。「なぜ？」と思って調べてみると、シユレーゲルアオガエルは、木の上で暮らす、樹上性のカエルだったんですね。カエルは種類によって生態がまるで違う。繊細で温度や湿度の変化に敏感です。飼って初めてわかることはかりでした。今いっしょに暮らしているのは、ベルツノガエルの「ジ

「イケメンでしょ」と見せてくれた写真(下)はヒキガエルのオスだった



「ジャイ子」です。

## 運動オンチがとった金メダル

——いつ頃から大学院でカエルの研究をしようと思いはじめたんですか。

**入江** 東京オリンピックの後です。金メダルをとったのをきっかけに、カエルが大好きなことが評判になってしまっただけで、そんなと無知をさらすわけにはいきません。自分なりに本や図鑑で勉強しているうち、ますます



飼育中のベルツノガエル「ジャイ子」

す探求心が湧いてきて、もうカエルが好きというレベルではおさまらなくなってしまうんです。就職するとう選択肢もありましたが、友人が「それほど好きなら大学院で研究したら？」と促されて。両親も応援してくれました。ボクシングもそうですが、私がやりたいというのと、親はいつも応援してくれるんです。



ニホンアカガエル(奥)とヤマアカガエル



金メダル獲得！ボクシング漫画「がんばれ元気」に憧れた少女が夢をかなえた写真提供：共同通信

——ボクシングで金メダルをつかみとった経験は、研究に役立っていますか。

**入江** 大学院は、専門の分野を極めようと思う人がすむところで、自分には無理じゃないかと思っていました。じつは私、もともと運動オンチで、今も逆上がりができません(笑)。それでも金メダルまでたどりつけた。今は研究室の同期にはかなわないけれど、ボクシングでしてきたように、正しい努力をコツコツしていけば、私が目指す「よきカエル人」になれると信じています。だって、ボクシングと同じくらいカエルが好きですから。途中であ

きらめいたら、カエルに失礼じゃないですか。

## 奇跡のカエルを守りたい



——カエルのどこに注目して研究していますか？

**入江** ちよっとむずかしい言葉です

が、「カエルの生きざまを真摯に追いかけて」と、いつも若井先生からいわれます。お話ししたように、カエルはただあたりまえに生きていて、かわいではなく、子孫を残すためにがんばって厳しい生存競争を生き抜いているんです。そのがんばる姿を「生きざま」と呼ぶのだと、私は解釈しています。オ

タマジャクシの中から生き残るのはたった3%なんです。水から陸へ上がるときに、天敵にほとんど食べられちゃうんです。だから、大人になれた子はみんな「奇跡のカエル」。かわいくてたまりませんよ。

——今、カエルの棲める環境がどんどん減っているといわれます。

**入江** よく、「カエルがいなくなると何がいけないんですか」という人がいますが、たとえばコアラとかペンギンとか、人気の動物が絶滅しそうなのにそんなことをいう人はいませんよね。私は、カエルがいることのありがたさを人々に伝えきれていないのが、問題だと思っています。カエルは蚊やハエなどを食べて、人間にとっての害虫の駆除に役立ってくれているし、他の動物に食べられることで、他の生きもののいのちを支えているんです。実際、カエルが減ったことで、蚊が媒介するマラリア伝染病が増えたという研究結果もあるんです。カエルの存在の大切さやかわいさを、もっと多くの人に伝えていきたいですね。

——生きもの好きの子どもたちにメッセージを。

**入江** 子ども向けのお話し会で「カエルが好きな人？」って聞くと、いつもたくさん手が挙がるんです。もっと少ないと思っていたので、すごく嬉しくて。カエル好きの仲間として、その気持ちをもっと忘れずについてほしいなと思っています。



「カエルのためと思うと大学院の試験勉強もつらくなかった」と入江さん。校舎をバックに



ほんと??

# 夜行性の カブトムシが 昼間も 動き回っている？

もともと夜行性のカブトムシが、ある特定の木にかぎって、昼間も活動していた。その木とは、東南アジア産産の「シマトネリコ」。発見したのは、

埼玉県の中学2年生・柴田亮さんだ。この生態についての論文(山口大学大学院創成科学研究所・小島渉講師との共同執筆)は、米国の生態学専門誌「エコロジ」に掲載された。

小学4年生の2019年夏、突然、庭木のシマトネリコの木にカブトムシがたくさん飛んできたのを見た。しかもクヌギ林で見るときとは違って、昼間も活発に動き回っている。不思議だった。そこで毎日3〜5回、カブトムシの飛来数をオス、メス別に記録。夏休みの研究テーマにした。そんなとき小島講師の著書『わたしのカブトムシ



シマトネリコの木でカブトムシを観察する柴田さん

# 小さな博士 の大発見

ええっ！ 何でだろう？  
ひょっとして……学者もびっくり。  
子どもが解いた、生きものたちのなぞの生態。

- 講師に連絡。① 昼間も活動する
- ②隣家のシマトネリコには集まらない、③飛来する年としない年がある——の疑問をぶつけた。
- アドバイスを受けながら観察を続けると、2020年夏には



個体を識別するため、青いアクリル絵の具で印をつけた

16匹が飛来。「51時間以上も動き回るのもいた」という。その後、柴田さんはカブトムシの背中にアクリル絵の具で印をつけて区別し、樹液を吸った尾をするといった活動も、時間別に記録した。

小島講師によれば、シマトネリコを国内でも見かけるようになったのは21世紀に入ってから。温暖化の影響だ。最大のなぞは、カブトムシが昼間も居



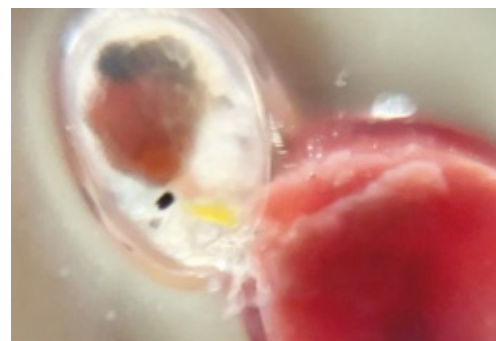
海岸を幻想的な光で染めるウミホタル

へえ??

# ウミホタルは えさを探るとき、 嗅覚を使っている のがわかった

えさが無いのに  
なぜ集まるのか？

ウミホタルは透明な卵形の殻に包まれていて、エビやカニの仲間だ。体長は約3ミリと小さいが、食欲旺盛で魚の死骸などを食べる。日本の沿岸に生



えさのアラを食べて赤くなったウミホタル

息し、昼間は海中の砂の中にもぐって、夜になるとはいだし、海を泳ぎながらえさを探す。魚などの外敵に襲われると、青い発光液を煙幕のように放出して逃げる。

寺地優太さん(近畿大学附属新宮中

残りつづける点だ。樹液を吸うとき、カブトムシは木をガリガリ削るそうだ。今後は樹液の摂取量や成分も調べ

学3年)は、このウミホタルがえさを探しているときに嗅覚や味覚を使っていることを明らかにし、2022年度の日本学生科学賞(読売新聞社主催)の最高賞、内閣総理大臣賞を受賞した。

寺地さんが喜ぶするのは和歌山県南部の新宮市。自宅から車で15分も行くと、彼のフィールドである那智勝浦町にある宇久井港に着く。

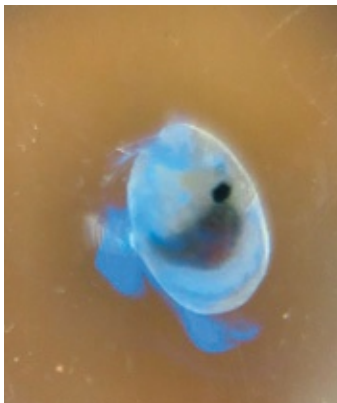
「ウミホタルに出会ったのは4年前です。新宮市少年少女発明クラブの講座に参加したときに興味を持って。宇久井港の防波堤で魚のアラを使ったわなを仕掛け、ウミホタルを採集しました。中学生になってからは自宅で飼育するようになり、今では100匹くらゐいます」



自宅でウミホタルの嗅覚に関する実験をする寺地さん

ウミホタルに嗅覚があるのではと考えるようになったのは、飼いはじめてもなかつた。えさを入る皿が空っぽなのに、ウミホタルが集まっていた。「皿にえさが無いのになぜ集まっているのだろう?」。皿をよく見ると、魚





ウミホタルが放出する青い発光液

説を立て、家で実験した。えさに、魚の内臓、鳥やクジラの血液、牛脂、赤虫、さまざまな材質でできたき、紅茶を用意。それぞれをカップの中央に入れ、タブレット端末のカメラで1分間、動画撮影し、えさに接触した個体数と、最初にえさに接触した時間を計測した。さらに個体を変え、5回繰り返した。

### ウミホタルは味覚も感じている??

の血液のようなものがうつすら残っている。ウミホタルが寄ってくる食材を調べたときのことを思い出した。うごに多く集まったのは、魚のアラをさわった手でうごんや血をさわったからではないか。ひょっとしてウミホタルには嗅覚があって、魚の血液の成分に反応するのではないか――仮

すると、ウミホタルは魚や鳥、クジラといった脊椎動物の血液の成分に引き寄せられることがわかった。さらに、血液の成分が含まれている鉄製の

**すごい!**  
富山県でヒカリモを発見、それまでの北限を更新!!

富山県の中学2年生・笹島浩裕さんは大の生きもの好き。1000種以上の生きものが生息するという県の天然記念物「杉沢の沢スギ」へは、保育園児のころから家族で訪れていた。調査を始めたのは小学1年生から。今では毎週、自転車を通つ。林道を歩くと、湿地にはおもしろい生物がたくさんいて「ほぐら」ってかけがえのない場所。

ではないだろうか。

小学6年のとき、富山大学理学部の田中大祐教授、中村省吾客員教授、酒徳昭宏講師の先生がたに知らされたところ、発見場所の土壌調査をすることになった。そして解析の結果、土壌のDNAがヒカリモと一致。なんと、それまで茨城県日立市だとされていたヒカリモの北限を塗りかえることになったのだ。

これからの目標は、ヒカリモの色

を特定し、再現することだ。ヒ

カリモが光る時期は7〜9月。

夏に向けて、笹島さんの沢スギ

通いはいつそう、熱をおびる。



「杉沢の沢スギ」で生物の観察をする笹島さん兄弟。手前が浩裕さん



金色に光るヒカリモ

くぎや、鉄の匂い成分が含まれている紅茶にも、多くの個体が反応した。ステンレス製のくぎや牛脂には反応しなかったことから、ウミホタルの嗅覚は、血液やにおいの成分をかき分けていることもわかった。

「ウミホタルには味覚もあるのだろうか――持ち前の探究心が高い、宇久井港で、ウミホタルの採集実験もおこなった。いりこ(煮干し)、昆布、カツオの3種のだしのもとを寒天液に溶かし、プラスチックのカップに入れて固めた。カップに鉄くぎだけを入れても、ウミホタルは集まらなかったが、いりこ(煮干し)だしを混ぜた寒天に鉄くぎを加えると、多くの個体を採集

**びっくり!**  
父と子(4歳児)が見つけたヨコエビの新種

できた。

いりこには、うまみ成分となるイノシン酸が含まれている。「ウミホタルは嗅覚でえさに近づいたあと、味覚でうまみ成分を感じとり、食べものかどうかを識別している」と思われます」

寺地さんの学校は中高一貫校なので、受験勉強に時間をとられず、そのぶんウミホタルの研究ができる。今後は味覚の研究をさらにすすめ、イノシン酸の濃度を変えたり、ほかのうまみ成分との相乗効果も調べるつもりだ。「将来は、ウミホタル以外の甲殻類の嗅覚と味覚についても調べ、甲殻類を養殖するための人工飼料の開発に役立たい」と、意欲はふくらむ。

新型コロナの緊急事態宣言下のある日、島根県松江市の小さな漁港は、釣り人もまばらだった。市内に住む写真家の父は、当時保育園児だった長男現在が小学2年生を連れて岸壁から釣り糸を垂らしたものの、ウキはピクリともしない。長男も飽きてきた。

そこでお父さんは、磯の生きものを眺めるのが大好きな息子に、岸壁に付



バットの中の小さな生きものに興味しんしん



新種と認定されたチゴケスベヨコエビ

びだった。ヨコエビが好きで、親子はよく探しては観察していたが、あまりにめずらしいので大阪市立自然史博物館の有山啓之・外来研究員にメールで問い合わせると、「新種かもしれない。複数の個体を送ってほしい」との返信。再度、漁港を探索し、有山外来研究員に送った。新種だった。2021年11月、国際学術誌で新種「チゴケスベヨコエビ」と発表された。

「息子がどんな生物にも興味をもって接してきたからこそ、大発見につながったのです。スマートフォンを見て、生きものを知ったつもりでいる子もいるけれど、山や海に足を運んで、生きものと触れ合う楽しさを伝えたいです」

撮影した写真を見ると、それは体長4ミリ、鮮やかな赤い色をしたヨコエ

着しているカキやホヤ、コケムシなどの生きものをほがしては、白いバットにのせた。息子は目を輝かせ、カニなどを順につまんで、別のいれものに移していった。すると、「なんかおもしろい」。バットに残った小さな生きものをじつと眺めていた長男の指さす先には、ごま粒大の生物が泳いでいる。スプーンですくい、サンプル瓶に入れて自宅に持ち帰った。



## 野菜と雑草、何が違うの？

野菜とは植物のいわば「からだ」を食べるもの。といっても、すべての植物が食べられるわけではありません。道ばたや公園の植え込みなどに生える雑草の多くは、お



トマトはむかし、食べ物ではなく見て楽しむものだった

いしくなかったり、消化できなかったり、毒を含んでいたりすることもあるので、口にしていけません。

野菜というのは、自然の中にある植物を人が「これは食べられる」と選んだもの。それを「自然界とは違う」「畑」の中で、おいしくなるようしっかりと管理して育てているものなのです。

## 野菜は「人の願い」が産み出した

野菜には「こうなったらいいなあ」と人が願う性質に改良してきた歴史があります。たとえば、みなさんが食べているトマトは野生の状態ではミニトマトより小さな実だったそうです。

とされています。

「果菜類」は植物の美を食べるもの。キュウリやトマト、ピーマンやカボチャですね。

これ以外にも、花やそのつぼみを食べるものがあります。ナバナは菜の花のつぼみ、ブロッコリーやカリフラワーもつぼみを食べているんですね。

## 野菜にも科目がある

学校の授業に「国語」や「算数」といった科目があるように、野菜にも科目があります。

葉野菜の「コマツナ」と「ナバナ」「チンゲンサイ」はアブラナ科。「ナ



アブラナ科の植物は、収穫せずに放っておくと、菜の花が咲く



コマツナは生で食べるとツンとする、アブラナ科の葉野菜

といった野菜は「ウリ科」の仲間。夏にシャリシャリとおいしいスイカもウリ科の仲間。お店では果物として売られています。本来は野菜な



やまけんの

# 野菜が食卓にのぼるまで

真っ赤なトマトにみずみずしいキュウリ、ホクホクしたジャガイモ……食卓にはさまざまな野菜が登場します。きっとみなさんにも、大好きな野菜や、ちょっと苦手な野菜があるでしょう。でも野菜のこと、意外と知らないのでは？



ホウレンソウはヒユ科の葉野菜。甘い根元を捨てないで！

や「サイ」と呼ばれるのはもともとアブラナ科の仲間が多いのです。それ以外に、ダイコンやカブもアブラナ科。この科の植物は、生で食べると「ツン」とした香りがするのが特徴です。キュウリやカボチャ、ズッキーニと

が赤くなり、かじるとほんのり甘さを感じますね。ヒユ科の仲間には、根が砂糖の原料となるニンサイという野菜



トウガラシはトマトと同じナス科。似てる？

のほうれん草は根せんがヒユ科。冬



ブロッコリーはつぼみを食べる野菜

ハクサイは球になる野菜。外側が古い葉で、中心部が新しい葉だ



返し、おいしくて大きなトマトができました。人の願いが今の野菜を産んでいるわけです。

やまもとけんじ  
山本謙治

文・写真

### Profile

1971年生まれ。大学在学中から野菜の栽培にいそむ。現在は、農業の現場と食べる人を結ぶ仕事で全国をかける。その様子はブログ「やまけんの出張食い倒れ日記」に詳しい。『激安食品の落とし穴』『炎の牛肉教室！』など著書多数。

## 食べるのは葉・根・実・花

野菜は、その食べる部位によって分けることができます。「葉菜類」は葉っぱを食べるもの。「コマツナやホウレンソウ、シユンギクなどがそうです。また、キャベツやハクサイなど、葉が寄り集まって玉のようになるものも葉菜類の仲間です。ちょっと驚くかもしれませんが、ネギやタマネギもこの仲間。これらは鱗茎<sup>りんじょう</sup>といって、葉っぱがウロコのように重なり合ったものなのです。

「根菜類」は根っこを食べるもの。ダイコンは「大きな根」と書くのでわかりやすい根菜です。他にニンジンやゴボウ、サツマイモなどがあります。ジャガイモは、本当は茎の部分が肥<sup>か</sup>つたものなのですが、土の中にできるので根菜類



ジャガイモには皮が黄色い品種と赤っぽい品種がある

があり、それと同じ性質なのです。トマトやピーマン、ナスはナス科の仲間。辛い辛いトウガラシもピーマンの親戚<sup>おかしや</sup>でナス科なので、トマトの仲間なのです。科目を知ると「へえ、この野菜とあの野菜は仲間なのか」と楽しいですよ。

## 野菜を作ってみよう

野菜について興味があれば、ぜひ自分で育ててみましょう。ホームセンターや通販で種と園芸用の土、大きめのプランターを買えば、庭がなくても野菜を育てられます。6月中であれば種から蒔く野菜もその年の収穫に間に合いますし、7月以降であれば苗を買って植えれば間に合うものもあります。

最初に植えるのは、とにかく葉が育てば食べられる葉菜類がおすすめ。次に根菜類が育てやすい。一番むずかしいのは、葉や茎を育ててから花を咲かせ、実をつけるまで世話が必要な果菜類です。

自分が育てた野菜はとておいしくですよ。ぜひ挑戦してくださいね。





## どうしたら温暖化は防げるの？

温暖化を防ぐ方法はいろいろあります。まずだいじなのは、二酸化炭素を増やす石炭や石油を使わないようにすること。毎日のくらしを、なるべく省エネルギーにすることが大切です。

二酸化炭素を吸収してくれるものを増やすこともだいじです。吸収してくれるものって、たいていは何でしょう？

答えは植物です。植物は昼間、光合成をして二酸化炭素を取り入れ、かわりに酸素を出します。元気な森は、大量の二酸化炭素を吸収し、酸素を放出します。

そのほかにも森は多くの役割を果たしています。生きものたちを育て、

雨を地中にしみこませて地下水をつくり、土砂くずれを防ぎます。

しかし、世界の森林はほとんどその面積を減らしています。増えていく人口を養うために、森を伐採して農地にかえていくからです。この30年間で日本の国土の4倍近い森林が失われてしまいました。

森が育つには長い時間がかかります。でもけつてあきらめる必要はありません。こつこつと植林と手入れをこつこつと続け、こつこつの日か（それはみなさんの子どもたちの時代かもいりませんが）りっぴな森が育っているのをこつこつか。



# 今、地球のためにできること

たびかさなる猛暑や巨大台風。その裏で進む地球温暖化。私たちに何かできることはあるのだろうか？

## 今、地球で何が起きている？



みなさんは最近の夏の暑さが気になりませんか？ 昨年6月には群馬県伊勢崎市で最高気温40.2℃を記録。これは6月の記録としては観測史上初です。

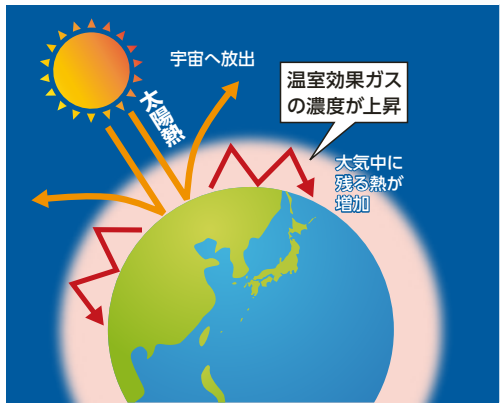
した。東京では6月から7月にかけ、9日間連続で猛暑日(35℃以上)を記録。もはや猛暑は避けることのできないものになりました。

日本だけではなく。昨年夏は世界中が熱波に襲われ、ヨーロッパでは各地で史上最高の異常な気温を記録しました。高温と乾燥が重なって、野山が自然発火する火災も発生しています。いっぽう、水害も目立っており、パキスタンでは洪水のため国土の3分の1が水没しました。

こうした異常気象は、人間だけでなくあらゆる生物に影響をおよぼします。かつて人類が住みよい環境を探して地球上を移動したように、動物も植物も長い時間をかければ移動することはできますが、急激な気温の上昇には適応できません。

もし地球の気温上昇が1.5℃の場合、地球上の生物種の最大14%が絶滅するおそれ、もし5℃上がったら最大48%が絶滅するおそれがあるといわれています。

## 地球温暖化はどうして起きる？



これらの異常気象は、地球温暖化のせいで年々ひどくなっているといわれています。

地球温暖化とはなんでしょつか？

地球は太陽の熱をあびて温められていますが、同時にその熱をはね返して宇宙に放出しています。このとき、大気中の「温室効果ガス」(二酸化炭素、CO<sub>2</sub>、メタン、フロンといった物質)が、放出された熱の一部をとりこ

み、地球を適度な気温に保つのです。もし温室効果ガスがなければ、地球の平均気温は零下19℃になってしまいます。

ところが、近年、この温室効果ガスが増えすぎて、地球を温めすぎるようになりました。これが地球温暖化です。

なぜこんなことが起きるのか。大きな原因の一つが人間の経済活動です。じつは地球の二酸化炭素濃度は、1万

年前から200年前まで、あまり変わらなかったといわれています。それがその後、急激に増えているのは、産業革命によって、石炭や石油をたくさん使うようになったからです。

40年ほど前、ようやく地球温暖化の深刻さに気がついた人類は、なんとかして温室効果ガスを減らそうと努力してきました。



## 沈黙の春

レイチェル・カーソン (新潮社)

あるアメリカの生物学者が、科学的調査・研究をもとに、この本で、殺虫剤や農薬などの化学物質による1960年代の環境汚染を告発し、世界に衝撃を与えました。以来、SDGsのバイブルのように読みつがれています。

## センス・オブ・ワンダー

レイチェル・カーソン (新潮社)

カニの這う海辺、シダの茂る森——『沈黙の春』の著者、レイチェル・カーソンが、甥のロジャーとともに広大な自然のなかで過ごした日々をふり返ります。小さな命とのふれあいが、いかに子どもの感性を豊かに育むか、子を持つ親にぜひ読んでほしい本です。

## ソロモンの指環——動物行動学入門

コンラート・ローレンツ (早川書房)

29日間温めてきたハイイロガンの卵からヒナが顔を出した。目と目を合わせ、言葉を交わしたときから、ヒナはローレンツを母親と認め、彼から離れなくなった——「刷り込み」理論を提唱し、ノーベル賞を受賞した動物行動学者の観察記。深い愛情をもって動物に接する姿に感動します。

## マザーツリー

スザンヌ・シマード (ダイヤモンド社)

「マザーツリー」と呼ばれる長老の古木が子孫に養分を与え、障害を受けた木は警告を発し、枯れる木は周囲の木々に養分を与える——森は根に共生する菌類のネットワークを通じて保たれていた。カナダ生まれの森林生態学者が解き明かした「森の知性」に驚かされます。

## 風の谷のナウシカ (全7巻)

宮崎 駿 (徳間書店)

アニメ映画の原作のマンガですが、映画になったのはほんの序章部分。なぜ地球は防毒マスクなしには生きられない環境になったのか。そのなぞを解き、生態系を回復しようとするナウシカの、つらく果てしない旅がさらに続きます。重い内容で難解な部分があるので、高校生以上向け。

地球環境の  
いまを  
考えるための本



## わいるどらいふっ!

身近な生きもの観察図鑑

一日一種 (山と溪谷社)

ドングリを埋めた場所をときどき忘れるリス、鳴かないと、どこにいるかわからないホトトギス。生きものイラストレーターが、4コママンガで描く生きものたちのエピソード。3巻まで、動植物のクスツと笑える、ちょっといい話がいっぱいです



## 完訳・ファーブル昆虫記

(全10巻)

ジャン＝アンリ・ファーブル (集英社)

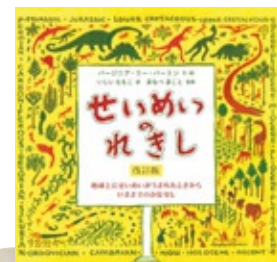
世界中、その名を知らない人のないフランスの博物学者・ファーブルによる昆虫の行動観察記。訳者は、自宅に「ファーブル昆虫館」まで開館したほどの虫好きのフランス文学者、奥本大郎先生。まさに昆虫たちの叙事詩、その観察と考察の仕方に圧倒されるはず。完訳本以外にも何種類か出版されており、小学生向けのものも。



## せいめいのれきし

バージニア・リー・バートン (岩波書店)

世界中で読みつがれている絵本です。三葉虫から恐竜、鳥たち、そしてヒトへと進化してきた過程＝地球が生まれてから現在までの、果てしなく長い命のリレーを感動的なお芝居にして、美しい絵で見せてくれます。また監修者で恐竜研究の第一人者でもある真鍋真先生が、最新のデータをもとに改訂した『深読み！絵本「せいめいのれきし」』(岩波書店)をあわせて読むと、また違った発見に出会えます。



## おもしろくてためになる 鳥の雑学事典

山階鳥類研究所 (日本実業出版社)

鳥にはなぜ歯がないの？ ハトはどうして首を振って歩くの？ 鳥の祖先は何？ などなど、野鳥の不思議な生態や知恵をおもしろく解説した一冊。知れば知るほど鳥に興味がわきます。



## かっぱ印 川あそびブック

阿部夏丸 (プロンス新社)

メダカ、ザリガニ、ドジョウ、タニシ……その捕まえ方から食べ方も。川あそびが大好きな作家が川の生きものたちとの遊び方を伝授します。子どもたちの冒険心をくすぐること間違いなし。



自然に  
親しむための本

## 子どもたちに ぜひ読んで もらいたい！ オススメ本



九重ふるさと自然学校  
高尾の森自然学校  
スタッフのおすすめ

## 里山いきもの図鑑

今森光彦 (童心社)

田んぼ、雑木林、水辺、奥山——里山に住む小さな生きものたちを、春夏秋冬に分けて観察した図鑑。どこに行けば彼らに出会えるのか、美しい写真がその道案内をしてくれます。



## 庭に鳥を呼ぶ本

藤本和典 (文一総合出版)

庭にくる鳥たちと仲良くするにはどうしたらよいか。巣箱づくりからえさのあげ方、鳥が大好きな木までを絵解きした図鑑。子どものためのバードウォッチングの入門書にもなります。



## フィールドガイド 日本のチョウ

日本チョウ類保全協会編 (誠文堂新光社)

日本に生息するチョウ、外来種を含めて268種すべてを網羅したハンディな図鑑。チョウを見つけたら、どんな種類か、この本で調べれば、すぐにチョウのもの知り博士になれます。





千曲川（信濃川）が流れる長野県佐久市は、市内だけで11の蔵元がある日本酒造りの盛んな地域だ。醸造の際に生まれる酒粕は、粕汁や粕漬けなどに使われるが、核家族化や食生活の変化で近年は需要が減り、産業廃棄物や家畜の餌になるケースが増えている。

佐久平総合技術高等学校の食品加工部は、酒粕の需要拡大や、SDGs（持続可能な開発目標）の推進と啓発に取り組んでいるグループだ。

「学校で栽培した酒米を地元の酒造会社で醸造してもらい、原料の栽培から加工、流通までを学習する授業を2019年度から始めました。酒造会社を見学して酒粕が産廃になっていると聞き、地域の課題を解決しようと、酒粕の研究を始めました」と、活動を指導する小林将樹教諭は話す。

佐久平総合技術高等学校は、3校の再編統合で15年4月に開校した。佐久市内に浅間キャンパス（農業科、工業科）と、白田キャンパス（創造実践科）がある。酒粕を研究する食品加工部はクラブ活動の一つで、食べることが好きな生徒が多く、地元の食材を使った商品の開発を目

ことにし、21年度からはラーメンの開発に取り組んだ。地域ゆかりの味噌は酒粕と相性がいいため、粕汁をイメージしながら酒粕入りの味噌スープを作った。麺にも酒粕を使った「さくさけらーめん」をラーメン店と共同で開発し、22年10月の「第3回佐久高校生ラーメン甲子園」に出品、2日間で400食以上を売り上げて優勝ラーメンに輝いた。

さらに現在は、酒粕の粉末化を研究している。品質が変わりやすく水分の多い酒粕を、もっと使いやすくするためだ。また、学校給食に活用すれば消費と食育につながるかと考えて、唐揚げのつけだれに酒粕を使う献立を考案、地元の学校で出してもらった。

これら独自の研究「カスを価値に！〜未来へ佐久酒粕プロジェクト〜」は23年2月、脱炭素チャレンジカップ2023でセブナイレブン記念財団最優秀地域活性化賞を受賞した。

「大吟醸の醸造で生まれる酒粕を使ってるので、フルーティーで甘さを感じる風味が新商品の特徴です。酒粕をどの人にも食べてもらうために、アルコールを除く加熱もします。地域の課題を解決するには、多くの人に活動を知ってもらって人の輪を広げることが大事ですから、積

長野県佐久平総合技術高等学校



## 「カスを価値に！」 廃棄される酒粕で地域を活性化

「さくさけらーめん」開発のために地元ラーメン店の指導を受ける生徒



パンの試作を重ねる

完成した「酒粕メロンパン」と「サクサククッキー」



酒蔵で醸造工程を見学



指している。学校の設備を使って食品を作り、最近自分たちで地域の課題を拾い上げて、解決に取り組むことを意識している。

「酒粕の消費量を増やして食品ロスを解決しよう、どうやって食べるのいいかという視点からチャレンジしました。生徒だけで加工して販売するまではできないので、商品開発の段階から地域の人を巻き込んで、酒粕をたくさん消費する仕組みを作っていくことにしました。企画書を持ち込んだりしながら、酒粕を使った新商品を開発していきました」（小林教諭）

第一弾として、酒粕を使ったメロンパンを、地元のパン屋さんと共同で20年10月に開発した。パン生地をこねるのも初めてで、酒粕は水分が多いため生地がまとまりにくかった。パン屋さんに指導してもらいながら作っては試食を繰り返して、酒粕の風味を感じつつ幅広い年代に美味しいと言ってもらえる商品になった。次にクッキーも作ったが、パンやクッキーは酒粕の使用量が少なく、廃棄物の大幅な削減には繋がらないという課題が生まれた。

連携する店舗や生産量を増やしていく



新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催だった第3回佐久高校生ラーメン甲子園。長い行列ができ、大盛況を博した



酒粕を粉末化するための打ち合わせ



地元の酒蔵やお店との連携を心がける



しなの鉄道軽井沢駅の出店ブース

極的に発信するようにしています。脱炭素チャレンジカップに参加したら反響が大きくて驚きました。生徒たちは発表を終えてほっとすると同時に、他の人たちの活動を目にして、もっと頑張らなきゃと刺激を受けたようです」（小林教諭）

22年度の食品加工部のメンバー10人はみな農業科だったが、23年度は工業科の生徒も入部した。授業で思いついたことを放課後に試したり、生徒たちは自由に取り組んでいる。

「学校でつねに命や自然と触れ合っていることもあって、のびとびとした人懐っこい子が多いと思います。変化の激しい時代ですから、自ら探究し、協働しながら課題を解決する力を、農業科での学びを通して高めていってほしいです」（小林教諭）

イベントや発表会に参加するなかで新しいつながりが生まれ、しなの鉄道と連携して沿線での酒粕商品の販売も決まった。大手コーヒーチェーンの依頼で、コーヒーカーの研究も始める。自然豊かな佐久市を舞台に、生徒たちは地域の人とともに学んでいる。



セブナイレブン記念財団は  
脱炭素チャレンジカップを  
共催しています



# 2023年度 「環境市民活動助成」 助成先決定！

助成応募総数  
**368件**

助成決定件数  
**243件**

助成総額  
**1億1742万1295円**

2023年4月5日現在

環境市民活動助成は、お客様がセブン-イレブン記念財団への募金を通して、地域の環境活動を支援する市民参加の社会貢献の仕組みです。2001年から現在まで、助成金を全国の環境市民団体にお届けし、地域活動を支援しています。お客様のご協力に感謝申し上げますと共に、更なるご支援とご協力をお願いいたします。

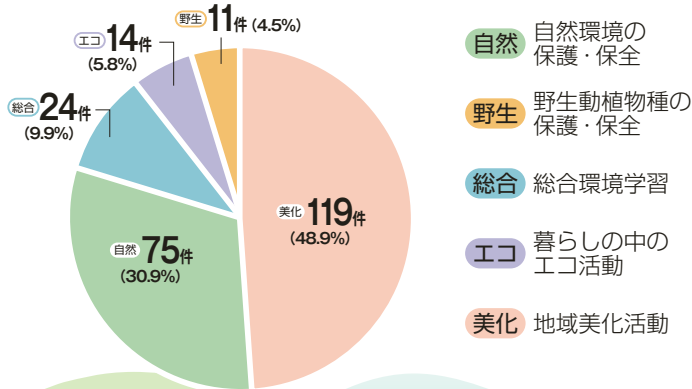
## 助成の主旨と結果

助成の種類	助成の主旨と特徴	応募件数
活動助成	自然環境保護や気候変動対策、脱炭素化をめざす取り組みなど、市民が主体となって行う環境活動を1年間支援します。	207件
NPO 基盤強化助成	持続可能な活動を実現する自主事業の構築確立をめざすNPO法人に対し、事業資金・専従職員の人件費・事務所家賃を原則3年間支援します。	25件
地域美化助成	ごみのない、緑と花咲く街並みをつくる活動を1年間支援します。	136件
<b>合計</b>		<b>368件</b>

助成決定件数	助成決定金額
121件	71,430,031円
3件	11,386,400円
119件	34,604,864円
<b>243件</b>	<b>117,421,295円</b>

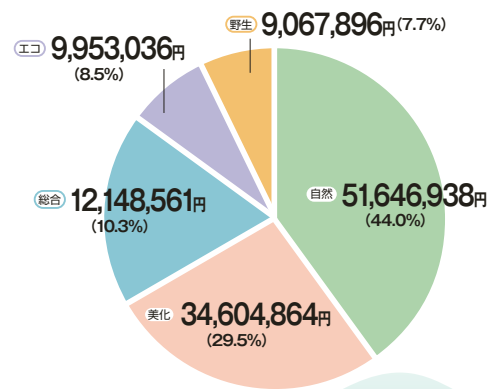
活動分野別 助成件数

243件



活動分野別 助成金額

117,421,295円



## 審査について

助成先団体選定は、透明性と公正性を高めるために、活動分野ごとに審査する専門審査会と、その結果をもって広い視点から審査を行う最終審査会の二重審査制をとっています。原則3年間継続して支援するNPO 基盤強化助成は、最終審査会においてプレゼンテーション審査を実施しています。

### ●専門審査会審査員

活動分野	担当審査員	
自然環境の保護・保全	森林の保護・保全	宮本 至 (NPO 法人 森づくりフォーラム 事務局長)
	里地里山の保全	竹田 純一 (株式会社 森里川海生業研究所 共同代表)
	里海の保全	木村 尚 (NPO 法人 海辺づくり研究会 理事・事務局長)
	その他の自然環境の保護・保全	横山 隆一 (公益財団法人 日本自然保護協会 参与)
野生動植物種の保護・保全	吉田 正人 (筑波大学大学院教授)	
総合環境学習活動	加藤 超大 (公益社団法人 日本環境教育フォーラム 事務局長)	
暮らしの中のエコ活動	崎田 裕子 (ジャーナリスト、環境カウンセラー)	

(敬称略)

### ●最終審査会審査員

審査員長	廣野 良吉 (成蹊大学名誉教授)
	佐々木 真二郎 (環境省 大臣官房総合政策課 民間活動支援室長)
	川北 秀人 (IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者)
	入江 彰昭 (東京農業大学教授)

(敬称略)

詳しくは、当記念財団  
ホームページをご覧ください  
<https://www.7midori.org>

## 審査講評

セブン-イレブン記念財団は、従来の地域美化助成や活動助成に加え、各地の地方自治体、専門家集団との連携強化の下、異色ある環境保全活動に取り組むNPOの基盤強化を支援し、持続的な環境保全効果を重視する助成を行っています。

そこで今回の最終審査会では、専門審査会推薦のNPO 基盤強化助成8案件(森林2件、里地里山2件、里海2件、総合環境学習1件、暮らし1件：申請総額31,386,218円)に絞り、オンライン形式で個別に質疑応答・意見交換をすることで、コロナ最盛時の紙面審査方式に比して公平かつ納得できる審査結果を見ることができました。なお本審査では、従来の基盤強化助成プログラムの「①計画の実行性、②申請分野での優先度」と共に、③基盤強化への期待、④先駆性、総合性に富み、当該地域・住民へ還元する成果が期待でき、社会的認知・信頼を勝ち得る案件であるか、また事業の中長期的な収益性・経済的持続性も重視しました。総合的評価の結果、最終的に3件(推薦総額11,386,400円、内1件は条件付)が採択されました。

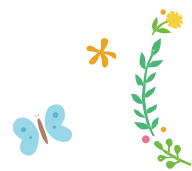
2022年度のセブン-イレブン記念財団への助成申

請案件総数は、昨年度391件に対して368件とわずかに減少しましたが、応募時期と重なった一部市町村における暴風雨と告知方法など手続き上の理由によるもので、助成申請では今年度も昨年度と同様に、47都道府県全部から応募がありました。

国際的には二酸化炭素排出ネットゼロ目標があり、国内では地域循環型共生社会実現への環境省や市民団体の掛け声もあって、全国各地域住民の環境保全活動への参加は一層強化されているといえるでしょう。特に、最近では外来種による我が国古来の動植物の浸食急増もあり、原生林の回復・再生・保護保全と共に、各地域で生物多様性への関心が高まっています。当財団でも今後優先すべき助成申請分野の見直しも既に予定されています。また高齢化が進む我が国では、環境保全分野でも各地域社会で若手の担い手が求められています。私たち記念財団最終審査会は、2023年度も日本全国から地域住民のニーズに即応し、全国的波及効果、経済的持続性と組織的強靱性でモデルとなるような優れた一層多数の案件応募を期待しています。

最終審査会審査員長 廣野良吉  
(成蹊大学名誉教授)





## セブン-イレブン 記念財団からのお知らせ



### 「埼玉セブンの森」環境保全活動 協定締結

2022年11月9日(水)、荒川太郎右衛門地区自然再生協議会と国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所、川島町、セブン-イレブン記念財団の四者は、「埼玉セブンの森」事業に係る連携に関する協定を締結しました。

活動場所となる太郎右衛門自然再生地は、埼玉県桶川市・川島町・上尾市に位置する広大な河川敷です。かつて湿地が広がっていましたが、樹林地の高木・壮齢化により、河畔の特徴的な姿が失われているなどの課題があり、「荒川太郎右衛門地区自然再生事業」は、本来の自然環境を取り戻そうと取り組まれている事業です。

「埼玉セブンの森」では、以下を活動の目的・テーマとし、地域の皆様と一緒に活動を進めてまいります。

- 荒川の河川改修により残された旧流路周辺の河畔林や湿地を保全・再生し、生物多様性の向上を図る
- 「エコロジカル・ネットワーク」(野生動植物の生息空間)づくり
- 流域住民が自然と触れ合う機会を提供する



「埼玉セブンの森」協定締結式



2024年度

### 「環境市民活動助成」のお知らせ

セブン-イレブン記念財団では、市民の皆様が主体的におこなっている地域の環境活動を「環境市民活動助成」という形で支援しています。皆様からのご応募お待ちしております。

**2023年9月15日(金)～10月31日(火)** ※当日消印有効

※助成の種類により、応募期間が異なります。詳細は9月掲載予定のホームページをご確認ください。

<https://www.7midori.org> 詳しくはホームページをご覧ください。



みなさんも一緒に  
ボランティア活動しませんか!!

## 活動レポート

セブン-イレブン記念財団が  
支援(助成)している  
団体からのお便りが届きました!

### act634府中(東京都府中市) 「ふちゅピカクリーン大作戦」市民参加の美化活動

●地域美化助成

[https://peraichi.com/landing\\_pages/view/act634fuchu/](https://peraichi.com/landing_pages/view/act634fuchu/)



京王線府中駅から直結するペDESTリアン「スカイナード」は、府中市民にとっても、府中を訪れる方にとっても身近な場所で、まさに「府中の顔」です。

しかし近年は老朽化に加え、コロナ禍でのごみ箱撤去や喫煙所閉鎖により、ごみやタバコのポイ捨てが増え、駅前空間の景観悪化が問題となっていました。

そこで市民団体「act634府中」では、市に「府中駅前スカイナードにおける市民参加の美化活動」を提案し、駅前空間の美化を「自分ごと」として捉える機会をつくることを目

的にした活動を2022(令和4)年11月3日に実施しました。

名付けて「ふちゅピカクリーン大作戦!」。市民、周辺の商業施設、市、まちづくり会社、管理者等の連携で実施し、市民にはスカイナードの柱の清掃、路面のガム剥がし、「たねダンゴ®」のプランターへの植え付けを体験してもらいました。この春にはプランターの種が芽を出し、綺麗な花を咲かせてくれました。

今年度も市民参加の美化活動を継続し、府中市の表玄関にあたる駅前を市民にとって自慢の美しい場所に変えていきたいです。



路面にこびりついたガムを剥がすのはなかなか大変

種入りの泥団子「たねダンゴ®」づくり

春には綺麗な花が人々の目を楽しませた



海岸の美化活動



軍艦島が見える砂浜でマリンスポーツ体験



高浜海水浴場から望む夕日を背負った軍艦島

### team長崎シー・クリーン(長崎県長崎市) 世界遺産「軍艦島」が映える海を守ろう!

●地域美化助成

問い合わせ先 / [seaclean1118@gmail.com](mailto:seaclean1118@gmail.com) 070-6596-4691 (代表:デミー博士)

「team長崎シー・クリーン」は、2020年4月に結成。チームは小・中・高校生、地域住民、漁師、大学・高校教員、自治体職員で構成しています。活動内容は、軍艦島が見える砂浜、海岸、漁港、道の「①美化」、「②環境教育」、「③地域の魅力発信」です。

①美化活動: 地域住民と海ごみが問題になっている海岸の美化、小・中学生と新入生の歓迎遠足で行く海岸や海開き前の海水浴場、漁師と釣客の多い漁港の美化をそれぞれおこなっています。環境問題への関心が高まっているようで、年々参加者が増えています。

②環境教育: 環境問題の研究に取り組む子供たちに協力・指導をおこなっています。小学生は科学教育で表彰を受け、中学生はコカ・コーラ環境教育賞・最優秀賞を受賞。高校生は国際会議「アジア・太平洋水サミット」での発表や、環境に関する絵本の出版など、大活躍しています。

③地域の魅力発信: 活動の参加者には漁師から軍艦島の周りで獲れる自慢の魚をふるまうほか、軍艦島が見える砂浜でマリンスポーツ体験や、軍艦島周遊クルーズなどをおこなって、環境問題に加えて地域の魅力を伝えています。



## セブン-イレブン記念財団『みどりの風』アンケート

2023年夏号 特集「みつけた！ビックリ！発見の夏」

Q1 面白い、役に立ったと感じた記事を、欄にレ点をつけてお選びください。(複数回答可)  
また、それについての感想があれば下の 欄にご記入ください。

ゲッチョ先生の「生きものの見方」  
盛口 満  
クイズ 生きものを知る  
野山が教室、生きものが先生  
自然学校っておもしろい！  
生きもののお付き合い 大好きな  
カエルに出会えた幸せ 入江 聖奈  
小さな博士の大発見  
やまけんの 野菜が食卓にのぼるまで  
今、地球のためにできること

子どもたちにぜひ読んでもらいたい！  
オススメ本  
脱炭素チャレンジカップ  
「カスを価値に！」廃棄される酒粕で地域を  
活性化 長野県佐久平総合技術高等学校  
セブン-イレブン記念財団 2023年度  
「環境市民活動助成」助成先決定！  
活動レポート  
セブン-イレブン記念財団からのお知らせ

Q2 本誌に対するご意見・ご感想、今後読んでみたい記事など、ご自由にご記入下さい。

Q3 本誌をどのような立場でお読みになりましたか？

セブン-イレブン加盟店オーナー 加盟店従業員 行政機関 企業  
環境市民団体 サポートセンター 研究・教育機関  
財団・社団法人 その他( )

Q4 年齢についてご記入下さい。

(年齢) 20歳未満 20代 30代 40代 50代 60代 70歳以上

●アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で3名様にセブンプリカ(1000円分)をプレゼントいたします。ご希望の方はお名前・ご住所をご記入ください。

★プレゼントの応募締切：2023年7月31日(当日消印有効)★

お名前： \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_  
ご住所： \_\_\_\_\_

※ ご記入いただいたお名前・ご住所は、プレゼント発送以外の目的では使用いたしません。

セブン-イレブン記念財団 FAX：03-3261-2513

各位

## 『みどりの風』2023年夏号送付のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

『みどりの風』は、広報事業のひとつとして2005年より発行しており、日本各地で自然環境の保護保全に尽力されている個人や団体を取りあげ、「人と自然の共生」のための新しい視点や方向性を提示していく広報誌です。この度、初めて小学校高学年から中学生を対象とした「特別子ども号」を発行しましたので、お子様たちと一緒に読みいただければ幸いです。

当財団では、皆様から率直なご意見・ご感想をいただき、これからの活動と広報誌『みどりの風』の誌面づくりに活かしていきたいと考えております。今後ともセブン-イレブン記念財団ならびに広報誌『みどりの風』をよろしくお願ひ申し上げます。

敬具

一般財団法人 セブン-イレブン記念財団  
〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8  
TEL:03-6238-3872 FAX:03-3261-2513

～皆様のご意見・ご感想をお聞かせください～

WEBでのアンケート入力が可能になりました。

こちらのURLまたはQRコードよりお願いいたします。

【URL】<https://ws.formzu.net/dist/S50941006/>



従来どおり FAXでのアンケート受付も可能です。

裏面のアンケート用紙にご記入の上、セブン-イレブン記念財団 事務局まで FAXしていただけますようお願い申し上げます。2023/7/31まで(当日消印有効)

セブン-イレブン記念財団 FAX:03-3261-2513

アンケートにご回答いただいた皆様から抽選で3名様にセブンプリカ(1000円分)をプレゼント!

